第２９期

島づくり人材養成大学

― 島づくりのプレイングマネージャーを目指して ―

開催要領

令和３年５月

公益財団法人日本離島センター

１.「島づくり人材養成大学」とは

（1）趣旨

今日の離島は、わが国経済社会の急速な変化の中で、これまでの離島振興事業を中心とした施策だけでは十分対応できないさまざまな難問を抱えています。若者を中心とする人口減少により急激な過疎化・高齢化が進展し、地域独自の創意と工夫を凝らした離島地域社会の創造が急務となっています。

そこで本財団では、各島々でコミュニティの活性化や産業振興に取り組んでいる実践者を中心に、地域づくりの核となるリーダーを育成するための短期集中型の研修を、平成４年から毎年開催しています（令和２年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止）。全国の島々から受講者が集い、これまで延べ５８７人の修了生を輩出してきました。

この島づくり人材養成大学は、日常から離れて自分自身を見つめ直し、島人同士で交流し、課題を共有するなかで、島を取り巻く環境や求められているニーズを的確に把握し、島の有形・無形の資源の再発見や有効活用方法の模索などを通して「島でやらなくてはならないこと」「自分にできること」を具体化していくものです。ワークショップを通じて新しい発想を学びあい、課題解決のための技術を磨き、最終日までに各自が島づくりの具体的なプランを構想し、発表を行うことで、暮らし方や働き方の多様化、情報化社会の一層の進展など「新しい日常」に対応しうる、創造性を兼ね備えたバイタリティにあふれる人材を養成し、今後の離島の振興に資することを目的としています。

広島県大崎上島町で開催した令和元年度第２８回島づくり人材養成大学の模様。島人同士で交流し、お互いの島の課題を共有したり、新しい発想を学び合う。この研修を機に、世代や地域を超えたネットワークが広く強く結ばれつつある。

（2）建学の精神

①島づくりは、地域住民自らの手で工夫し実践する。

②地域に誇りを持ち、地域の特色を活かした独創的な島づくりを行う。

③グローバル時代にふさわしい広い視野と長期的な視点に立ち、地域住民が求めているもの、地域住民に求められているものを的確に把握し対応する。

以上の視点に立って積極果敢な行動と斬新かつ大胆な発想のできる地域リーダーたる人材を養成する。

（3）主催

公益財団法人日本離島センター

（4）後援（予定）

国土交通省／離島振興対策協議会（２７関係都道県）／全国離島振興協議会（１４１関係市町村）

（5）本講座について

テーマ：島づくりのプレイングマネージャーを目指して（仮）

生き方や働き方に対する価値観の多様化、情報化社会に進展等によるライフスタイルの変化などにともない、離島の産業・社会構造も実情に応じた柔軟な対応が求められています。また、生活基盤である地域コミュニティを次世代へ引き渡していくことも喫緊の課題と言えます。これら問題を解決していくためには、住民自らが主体となり、与えられた条件と環境の下で地域の資源を最大限に引き出し、地域にとって本当に必要なものは何なのかを見極め、真剣に意見を出し合いながら、実際に行動に移していく力が必要となります。

これまでは、地域づくりを実践されている方（プレイヤー）、また地域づくりに興味関心のある方を対象に、島づくりのアクションプランを考える講座を中心としていましたが、今年度は、自身は実践者でありながら、周囲を巻き込んでいける（コーチングできる）ような「プレイングマネージャー」の育成を見据え、ファシリテーションスキル等を学ぶプログラムを予定しています。

地域づくりの取り組みにとって大切なコミュニケーションの技術をはじめ、活動を始め

るきっかけづくり、その活動の継続・拡大といった内容について、ワークショップを通じて学んでいきます。

２．募集対象と人数

（1）募集対象

地域づくりに取り組んでいる、または地域づくりに関心があり、下記条件を満たす者。

①公益財団法人日本離島センター、または全国離島振興協議会に加入している市町村の離島に在住している者

②全国離島振興協議会の都道県支部長（支部の設置のない市町村では各市町村長）から推薦された者

（2）募集人数

２０人程度

※新型感染症対策の観点から、受講者は基本的に島嶼会館（開催地）への宿泊を前提とします。受講者の費用負担については、「４．宿泊および参加経費の負担について」を参照してください。受講希望者多数の場合は、事務局にて選抜します。

３．開催期間

（1）日時

令和３年１０月６日（水）～８日（金）　２泊３日

（2）開催地

島嶼会館（東京都港区海岸１－４－１５）

・ＪＲ・東京モノレール「浜松町駅」から徒歩５分

・都営地下鉄浅草線・大江戸線「大門駅」から徒歩７分

（3）スケジュール（予定）　※詳細は、後日受講者に連絡します。

●事前研修（オンライン、１回）

・受講者の顔合わせ、ウェブ上で可能なプログラムを事前ワークとして実施予定

●現地研修（島嶼会館会議室）

１０月６日（水）

・午前：「島嶼会館」に集合、開校式、ガイダンス

・午後：ワークショップ①

１０月７日（木）

・午前：ワークショップ②

・午後：ワークショップ③

１０月８日（金）

・午前：ワークショップ④

・午後：最終発表、ふりかえり、総評、修了式、「島嶼会館」で解散

※１０月６日～８日の研修は、新型感染症対策に十分留意のうえ実施します。

●事後研修（オンライン、１～２回程度）

・島に戻ってからの受講者の様子の確認や、本財団の人材育成基金助成事業の募集開始のお知らせ等の情報提供など、講師や事務局によるフォローアップを予定

４．宿泊および参加経費の負担について

（1）宿泊場所

受講者は、基本的に「島嶼会館」（研修会場と同一）への宿泊（２泊３日）が前提です。洋室シングルルーム（１名１室）を本財団で確保します。島嶼会館についての詳細は、公式ウェブサイト（https://www.tosho-kaikan.jp/）参照。

（2）参加経費の負担について

研修にかかる費用（受講費、教材費、会場費など）、研修期間中の滞在費（宿泊費、食

費など）は本財団で負担します。居住地（お住まいの離島）から集合・解散場所（島嶼会館）までの往復旅費は、受講者自身でご負担ください。

５．担当講師

西原　弘（にしはら　ひろし）

有限会社サステイナブル・デザイン代表取締役社長。

1991年、東京大学文学部卒。株式会社三菱総合研究所研究員を経て、2002年に有限会社サステイナブル・デザイン研究所（現・有限会社サステイナブル・デザイン）を設立、「長続きする社会づくり」をキーワードに、環境・コミュニケーションに関する調査・研究・コンサルティングなどを取り組む。2007年より島づくり人材養成大学の講師として、「地域の経営」「人生の経営」などの観点から、やる意味のある・やる気の出るプランニングを指導している。

このほかNPO法人東京城南環境カウンセラー協議会理事（2010年～専務理事）、NPO法人日本ガラパゴスの会理事、内閣府地方創生SDGs官民連携プラットフォーム「SDGs＆ESG＆CSVビジネスモデルと人材育成」分科会員なども務める。

６．参加申込方法

（1）提出書類

「第２９期島づくり人材養成大学受講申込書」

（2）提出方法と期限

・会員市町村は、受講申込書を取りまとめ、６月３０日（水）必着で都道県支部に提出してください。

・都道県支部（支部の設置のない都道県の市町村）は受講申込書を取りまとめ、７月５日（月）必着で本財団理事長宛の申込文書を添付し提出してください。

※受講希望者がいない場合にも、本財団宛てにその旨をご報告ください。

・後日、申込のあった支部・市町村に「受講決定通知」をお送りします。また、詳しい内容については、受講者に「受講決定通知」とともに直接連絡します。

７．留意事項および問い合わせ先

（1）開講中止について

新型感染症の拡大状況や緊急事態宣言の発令の有無などを勘案の上、開講を中止する場合があります。その場合は、申込のあった支部・市町村および受講希望者に連絡します。

（2）問い合わせ先

〒100－0014　東京都千代田区永田町１-１１-３２　全国町村会館西館５階
公益財団法人日本離島センター「島づくり人材養成大学」係（担当：奥村・森田）
ＴＥＬ　０３－３５９１－１１５１
ＦＡＸ　０３－３５９１－００３６
E-mail　ｓｈｉｍａｄａｉ@ｎｉｊｉｎｅｔ．ｏｒ．ｊｐ

第２９期島づくり人材養成大学受講申込書

受付番号※	
優先番号＊	

受講者氏名	ふりがな＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（島名　　） 昭・平・西暦　　年　　月　　日生 （　満　　歳） （　男　・　女　）
自宅住所	〒 自宅電話番号：
連絡先	携帯電話番号（必須）： Ｅ-ｍａｉｌ（必須）：
職業／勤務先名／部署	
勤務先住所	〒 勤務先電話番号：

上記のとおり受講を申し込みます。

年　　月　　日

市町村長名

公益財団法人日本離島センター
理事長　荒　木　耕　治　殿